

近世編 上 目次

緒 言
執筆者

第一章 幕藩制の成立

第一節 天下分け目の戦

一 孤墨を守る
二 上田城から海津城へ

第二節 幕藩領の成立

一 真田氏松代入封以前の状況

森長可領 五 上杉景勝領 五 太閤藏入地 六 田丸直昌領 六
森忠政領 六 松平忠輝領 六 松平忠昌領 七 酒井忠勝領 八

真田信幸領 八

二 真田氏松代入封以後の状況

松平光長高田藩飛領 八 坂木藩領 九 天領 九 上田藩飛領 九

塙崎旗本知行所 一〇 寺社領 一〇 松代封内図 一〇

三 領主の変遷 三 村高の変遷 三

一 領主と村高 一 村高の変遷 一

第三節 幕藩制の構造

第二章 松代藩前期の藩政

第一節 真田松代藩の成立

一 真田氏の抬頭

二二七
二二七

二 松代藩初期の領主と領地

二二八
二二八

三 初期の領主と領地 二元 宽文の知行状

三三五
三三五

三 松代藩藩主の系譜と幕府勤仕

四九
四九

四 藩主一覧 三三 歴代藩主の略歴と対幕府勤仕

三四一
三四一

第二節 松代藩の家臣団構成

一 家臣団と知行形態

四九
四九

二 幕藩制下の領地 穀 松代藩の家臣団構成と知行形態

三三
三三

三 知行取家臣団

五四
五四

四 藏米取家臣団

五九
五九

藏米取の給与形態 穀

(A)足軽(同心)組 三三 (B)定番組 穀

(C)口留 穀

(D)仲間等 穀

(E)検断その他 三〇 (F)奥坊主・御女中・寺社 三〇

五 在郷足軽衆

七一
七一

第三節 松代藩の支配機構

一 藩の職制

七六
七六

二 幕末の職制表 三三 延享・安政期の役人数 穀

八四
八四

三 家老・城代の名面表 三三 四奉行の名面表 三三

七六
七六

三 四奉行の職掌

九一
九一

三 奉行と天保一四年の改組 九一 寛永期三奉行の職務規定

五五
五五

四 郡奉行の属僚と職掌	九八
代官 兮 越石代官 二二 手代 二四 代官・手代の支配区域と知行高 二〇〇	
御預所 三三	
五 評定所と目付	一一四
評定所 二三 目付 二七	
松代藩の蔵入地と前期藩財政 :	
一 領地の配分構成	一一一
二 蔵入地の分布と支配機構	一一二
三 蔵入地の年貢収支	一一三
四 前期の藩財政	一一四
第五節 松代藩前期の知行所:	一一五
一 地方知行とその特色	一二一
二 松代藩の地方知行 二三 大熊家の場合 二七 原家と海野家の場合 二九	
三 松代藩地方知行の特色 二九	
二 地頭知行所の領地形態と分布	一六〇
一 知行の分散給付 二〇 知行の相給 二三 知行所の領内分布 二七	
三 地頭と所属農民—知行地と農民所持地	一六八
四 枝瀬村の場合 兮 石川村等の場合 二六 その因由 二八	
四 地頭の家臣と知行所の支配機構	一八一
一 鎌原家の場合 二三 依田家の場合 二五 小林家の場合 二五	
二 知行所の支配機構 兮	
五 知行所の貢租	一八八
一 知行所の収納規定 兮 紿所免相目録 五 紿所免相書上帳 一四五	
二 年貢の割付と皆済 一七 年貢小役皆済目録書上帳・年貢小役名寄帳 二〇〇	

年貢小役の減免・取延	二〇四
六 地頭の知行権	一一五
地頭の行政・司法権	二〇六
地頭の借金・無尽金・御用金	二〇九
地頭の司法権	三〇七
知行所の農民支配	二〇七
第三章 松代藩前期の農村	一一三
第一節 村概況	一一三
村高と村数	三三
本田免	三一
第二節 農村の支配機構	一一一
村方三役	三三
頭立	三四
御触書と高札場	三六
第三節 松代藩の検地	一一一
幕藩制下の検地	三三
松代藩領の検地	三五
慶長期の森惣検地	三六
寛文期の指出惣検地	三四
松代藩の本田検地実施状況	三三
検地条目	三三
第四節 農民の所持地	一五四
慶長・寛文期の農民所持地	三四
網掛村・上平村・新山村の場合	三四
新田地主の場合	三五
壳地・壳山証文	三五
千曲川河川敷出入一件	三五
第五節 農民構成と貢租	一六六
農民構成	三五
貢租	三一
第四章 上田藩前期の川中島飛領地	一八五
第一節 川中島飛領地の概況	一八五
領主と領地の推移	三五
飛領地の概況	五六
第二節 檄地と農民所持地	一九五
	一九五

文禄の太閤検地	二五	文禄期農民の土地所持高	二九
中水鉢村の農民土地所持高の変遷	三〇	慶長の森検地と農民土地所持高	三〇
第三節 農村の支配機構と農民構成	三〇四		
第四節 農業生産の概況	三〇五	川中島飛領地の支配機構—村役人	三〇四
		村役人給	三〇九
		五人組と家族構成	三三
第五節 貢租	三三六	宝永期の村明細帳	三三
		川中島八カ村の農業生産の概況	三三
		家数と屋敷数	三六
		幕藩制下の貢租	三四三
		宝永期の貢租	三四四
		享保期の下見合毛附帳	三四五
		中水鉢村の貢租負担	三四一
		検見取と定免取	三四〇
		年貢の割付と皆済	三四一
第五章 高田藩坂木飛領地と坂木藩	三四二		
第一節 越後高田藩の坂木飛領地	三七一		
一 坂木飛領地の成立と領地	三七一		
二 農民所持地と貢租	三七七		
三 御林	三八三		
四 千曲川河川敷出入一件	三九〇		
第二節 坂木藩	三九三		
一 板倉坂木藩の成立と領地	三九三		
二 農民所持地と貢租	三九八		
第六章 松代藩後期の藩政	四〇三		
第一節 松代藩後期の藩政の動向	四〇三		
元文—明和期	四〇三		
元八郎五郎の藩政改革	四〇三		
田村騒動	四〇三		
恩田空の藩政改革	四〇九		

真田幸貢の藩政改革 四五 派閥抗争 四七

第七章 松代藩後期の農村	四四一
第一節 村政	四四一
広域行政区画 番一 村方三役人 番一 村役元諸帳簿 番九	
藩法と村法 番五 村入用 番三 村の借財 番七	
第二節 植地と農民所持地	四七五
松代藩の地押植地 番五 农民所持地 番三 村高・村反別の変遷 番三	
山林 番五	
(一)御林 番五 (二)入会山 番四	
第三節 戸口と農民構成	五一七
人詰改帳 番三 五人組改帳 番元 宗門改帳 番六 農民構成 番〇	
農民階層の性格 番四 潟百姓 番五 村の家並一覽 番六	
第四節 農民の貢租負担	六〇五
幕藩制下の貢租 番五 松代藩徵租仕法の特色 番六 松代藩領の村免 番七	
年貢・諸掛り規定 番一〇 年貢の割付 番七 年貢の皆済 番三	
寛保元年の年貢月割先納仕法 番七 宝曆八年の年貢月割先納仕法 番三	
第五節 大検見・小検見 番六 課業錢 番六	

第五節 農業生産の概況

地主の記録にみえる農村の動向 八五 農作物 六一 養蚕・蚕種・製糸 六四

絹織物・木綿 八五 諸商売・余業 八九 鑄物師 八五

六七五

第六節

交通運輸と宿場

一 交通運輸

交通略図をめぐって 七一 口留番所 七七 中馬・手馬 七三

二 宿場

I 丹波鳴宿

七三一

II 矢代宿

七五一

III 桑原宿

七七三

IV 鼠宿

七八七

第七節

用水と治水

一 溝池と用水堰

用水堰 八〇

用水堰普請 八〇

二 治水

千曲川・犀川普請所 八三

国役川除普請 八三

八二二

第八節

凶災と農民騒動

一 凶災

凶荒灾害 八三

凶災救恤・備荒 八三

八三一

二 農民騒動

婚姻狼藉・野荒 八三

博奕 八六

夜番警備・盜賊取締 八七

隠密御用廻村 八九

欠訴・徒党・強訴 八九 小作紛争 八四

小作騒動 八五

百姓一揆 八九

八四三

図表目次

口

- 松代城(海津城)跡
 旧真田邸
 寛文四年・徳川家綱領知御判物
 慶安三年・真田信之知行朱印状
 享保七年・松代藩給所附分限帳
 文禄四年・下水鉢村太閤檢地帳
 文政十年・網掛村村中家並帳
 天領中之条陣屋元締旧役宅
 文政四年・天領中之条陣屋図
- (長野市松代町
 荒川慶明氏撮影)
 (長野市松代町
 真田宝物館蔵)
 (長野市松代町
 真田忠雄氏蔵)
 (長野市松代町
 山上武夫氏蔵)
 (長野市福里町
 青木修一郎氏蔵)
 (埴科郡坂城町
 網掛区有文書)
 (更級郡上山田町
 中島蘊外氏撮影)
 (埴科郡坂城町
 柳沢千枝氏蔵)

更級郡・埴科郡の近世領主変遷表

松代封内図 (寛永初期) [袋入付図]

(註) 一般図表目次(略)